

あたらしい絵本・児童書

あらたに市立図書館の蔵書に加わった絵本や児童書を紹介します☆

『はんぶんライオン』

おおはらえつこ ねこの ふくいんかんしょてん
大原悦子/文、猫野ぺすか/絵 福音館書店

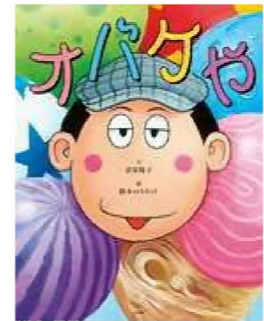
おじいさんはぬいぐるみ屋さんを閉めることになりました。最後まで売れ残った、たてがみが半分しかない「はんぶんライオン」。おじいさんはお家に持ち帰り、おじいさんとお家を守るように言い聞かせました。お家には他にもぬいぐるみたちがいて、「はんぶんライオン」が強くなるように特訓してくれます。そして、おじいさんのお家に危機が訪れたとき…。意志と成長の物語です。



『オバケや』

とみやすようこ すずき
富安陽子/文、鈴木のりたけ/絵 小学館

世の中には様々なオバケがいます。人の家に入り込み、悪さをするオバケたち。様々な道具をかつぎ、頭の上にたくさんの風船を浮かせた「オバケや」がとらえてくれます。「オバケや」はどんな道具を使い、どうやってオバケを捕まえるのでしょうか。本の見返しのオバケ紹介も見どころです。



『かくされた意味に気がつけるか？ 3分間ミステリー かさなる世界』

めぐり
恵莉ひなこ/著、ポプラ社

一話につき4ページほどの短編集。3分間で読めてしまうので朝読書にもぴったりです。とても短いストーリーの中でミステリーが展開され、隠された意味を考え推理する本です。答えを早く知りたいような、なんとしても自分で答えを見つけたいような…。葛藤してしまいます。人気シリーズ最新作です。



『物語から生まれたおいしいレシピ ②お話ごはん世界旅行』

かなざわまきこ こんさとえ かんしゅう
金澤磨喜子、今里衣/監修、ポプラ社

物語を読んだり、映画を観たり、お話の世界には魅力的な食事がたくさん出てきます。こんなごちそうが食べてみたい、そんな願いを叶えてくれる本です。お家の人と一緒においしいごはんを作ってみませんか？ ごはんから初めてのお話との出会いがあるかもしれません。



山形市立図書館



第56号
2024年 夏

発行：山形市立図書館 山形市小荷駄町7-12 TEL：624-0822
幼児から小学生のみなさん、絵本や児童書に関心のあるみなさんのための「としょかん Kids」という本の新聞です。



絵本と童話の作家 ^{みやま}深山さくらさん

こうえん に講演していただきました！

「絵本と童話の作家 ^{みやま}深山さくらさん作家活動 20 周年記念 読み聞かせ講演会」と題して、4月21日に深山さくらさんに市立図書館本館でお話していただきました。

作家活動 20 周年を迎えられた深山さくらさんには、昨年5月、山形駅東西自由通路「本のひろば」に、ご自身の「きっかけになった本」をご紹介いただきました。この度の講演会では、「本のひろば」にご紹介いただいた本について、さらに深くお話していただきました。深山さんが童話を書く大切さを改めて知るきっかけとなった「こすずめとゆき」の読み聞かせでは、「子どものころ初めて雪を見たときにどう思ったのだろう。『雪』って認識できたのかな。」と参加者に問いかけ、物語の生まれたいきっかけをお話していただきました。

参加者からは、物語をどのように思いつくのかとの質問があり、「例えば子どものジャンプする姿など、何気ないところから着想を得ている。子どもの気持ちになって考えてみる。」とご回答。深山さんは、これまでに 400 話もの物語を執筆されたとのことでした。出版に携わった方は 90 人程で、「感謝しかありません。」とお話されました。

ぼくとわたしのおすすめの本

山形市立出羽小学校 六年 長内小百合さん

みなさんは、ミステリーときいてどんなことを思い浮かべますか？事件を解決する推理や、あっと驚かされるトリックなどを思い浮かべるかもしれません。この本は一見普通に見える物語でも、物語の中に隠された「意味」を考えながら読むミステリー短編集です。

そして、この本のおすすめしたいところが二つあります。一つ目は、一話一話が短いので隙間時間にさっと読めたり、長い物語や小説が苦手な人でも気軽に読めたりするところです。二つ目は、短編集なので読みたいと思ったときに、ぱっと開いたページから読んでも様々な物語を楽しむことができます。

みなさんも、ぜひこの3分間ミステリーを気軽に手に取って、物語に隠されている意味について考えながら読んでみてください。



かくされた意味に気がつけるか？
3分間ミステリー

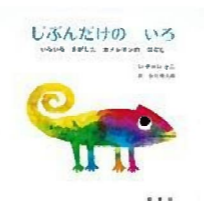
黒 史郎 著
ポプラ社 発行

山形市立出羽小学校 図書整理員 加藤智美さん

この本は、みんなそれぞれ自分の色があるのに、自分に行く先々で色が変わることにも悩むカメレオンのお話です。

自分の色がほしいと思いつつ暮らしていたら、ある日一匹のカメレオンと出会います。二匹は一緒に暮らし、草の上では緑色、藤の花の上では紫色、秋の葉っぱの上では黄色。周囲に合わせて色が変わっていきます。自分だけの色がなくて悲しくなったカメレオンですが、周りに溶け込み、色を変えていくのはすごい才能です。一人でなく、仲間がいてくれればもっと心強いです。

自分だけの色をもっている人をうらやむより、雰囲気に合わせて色を変えてみませんか？これが自分らしいと思えると、心が軽くなります。この本の絵がとてもカラフルで素敵です。



じぶんだけのいろ
いろいろさがしたカメレオンのほなし

レオニレオニ 作
谷川俊太郎 訳
好学社 発行

子ども読書月間

図書館に満開の花が咲きました



4月19日～5月12日、山形市立図書館本館では「私の推し本」を募集し、児童コーナーに掲示しました。花びら型の用紙に好きな本を書いてもらう形式です。はじめは寂しい本でしたが、皆さんのおかげで満開の花が咲きました。中には、絵で好きな本を表現してくれた方もいました。

おばけの本や恐竜の本を書いてくれた方が多かったようです。図書館ではおばけや恐竜の本を集めたコーナーがありますので、ぜひ読んでみてくださいね。



夏休みイベントのご案内

どちらも元教職員の先生からていねいに教えてもらいます。
ぜひご参加ください！！

7/28
(日)

夏休み自由研究相談会
事前予約制 (1 枠 30 分)

8/4
(日)

読書感想文講座
小学生 午前 10 時～正午
中学生 午後 2 時～4 時
事前予約制